

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012904 - 0018		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F-2/3号機 PCVガス管理設備用制御盤二重化工事および同関連除却										
	発生場所	1F構内						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	電気設備保守グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	電離箱サーベイメーター		管理番号	FI-ICW-052			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
		①	②	③								
	1	ベアリング	B	03	D	A	0.5 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無		
	2	超音波発生機	B	03	D	A	0.5 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無		
欄	3	碍子	B	03	D	A	0.1 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無		
	4											
	5											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0343
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月20日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
欄	1	1	ベアリング ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/20 12:10	0.2 m ²			1
	2	1	超音波発生機 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/20 12:10	0.2 m ²			1
	3	1	碍子 ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/20 12:10	0.01 m ²			1
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2018年3月23日		(金)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内(5, 6号機サービス建屋屋上他)				2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW サーベーター	管理番号	F1-ICWBL-45	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	エフレックス管	C	04	D	A	1 m	0.3 μSv/h	4 μSv/h	β 有	6 μSv/h
2	スピーカー、アンプ	B	03	D	A	0.3 m	0.3 μSv/h	3 μSv/h	β 有	4 μSv/h
3	ケーブル	B	08	D	A	0.3 m	0.3 μSv/h	4 μSv/h	β 有	6 μSv/h
4						m				
5						m				
「緊急放送装置拡充工事並びに関連除却」にて発生した物品になります。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0344
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月23日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフレックス管	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/3/23 9:30	1 m			1
	2	1	スピーカー、アンプ	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/3/23 9:30	0.3 m			1
	3	1	ケーブル	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/3/23 9:30	0.3 m			1
									m			
									m			
									m			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0004		
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月23日		(金)	11:00		承認	審査	作成			
	作業件名	建物保全関係工事										
	発生場所	2, 3, 4号機 タービン建屋						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	シンレーション式メーター		管理番号	FF1-SC-210		
	G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
1	照明器具	B	10	D	A	5 m ²	0.05 mSv/h	0.1 mSv/h	無			
2						m ²						
3						m ²						
4						m ²						
5						m ²						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0345
				2018/3/1
調整後保管日時		2018年3月23日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	照明器具 ③	5 μSv/h	80 μSv/h		エリアC	2018/3/23 11:15	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事									
	発生場所	既設多核種建屋					2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28		
	作業主管G	設備電源グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/15	測定者			測定器名	ICW/ICWBL	管理番号	108/35		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	B	4 m	0.002 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
	2	機器類・制御盤類	B	03	D	B	2 m	0.002 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
	3	ケーブル類	B	08	D	B	1 m	0.002 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
	4	難燃シート類	C	02	D	B	1 m	0.002 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
	5	可燃物その他	A	04	D	B	1 m	0.002 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0354
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月19日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2		ICWBL	F1-ICWBL-55	
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ⑩	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 8:45	3 m			2
	2	1	機器類・制御盤類③	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 8:45	1 m			2
	3	1	ケーブル類⑩	5 μ Sv/h	7 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 8:45	1 m			2
	4	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 9:40	0.1 m			1
	5	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 9:40	0.2 m			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	共用プール建屋内					2018/2/28	2018/2/28	2018/2/28	
	作業主管G	設備電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/2/22	測定者		測定器名	ICW/ICWBL	管理番号	注1		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	MCC盤, 付属品 他	B	03	D	A	7 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	木材 他	A	03	D	A	0.3 m ³	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-241/F1-ICWBL-42									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0355
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月19日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	MCC盤, 付属品 他 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 10:35	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥 W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日	(火)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	危険物屋内貯蔵倉庫設置工事に伴う地質調査委託								
	発生場所	消防車庫			2018/3/2	2018/3/2	2018/3/2			
	作業主管G	防災安全グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/3/2	測定者			測定器名	SC			
						管理番号	F1-SC-080			
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	消防用ホース取り出し口	B	01	D	A	2 m ²	1.3 μSv/h	1.3 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0356
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月20日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	消防用ホース取り出し口 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/20 10:15	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作業主管理G記入メモ	保管希望日時	2018年3月23日		(金)	10:30		承認	審査	作成
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事							
	発生場所	大型機器点検建屋						2018/3/1	2018/3/1
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-129	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	鋼材	B	01	D	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			

注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0358
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月23日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保管実績記入欄メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	鋼材 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/23 10:30	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月23日		(金)	10:30		承認	審査	作成				
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事											
	発生場所	大型機器点検建屋						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1			
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/2/9	測定者			測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICW-129			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
	1	ケーブル		B 08	D A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無				
	2					m ²							
	3					m ²							
4					m ²								
5					m ²								
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	ケーブル ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/23 10:20	4 m ²			1	
									m ²				
									m ²				
									m ²				
									m ²				
									m ²				
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028																																																																																																					
作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時		2018年3月23日		(金)	12:30		承認		審査	作成																																																																																																				
	作業件名		G1エリアタンクリプレイス関連工事																																																																																																												
	発生場所		大型機器点検建屋						2018/3/1		2018/3/1	2018/3/1																																																																																																			
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員		TEL																																																																																																						
	元請会社						担当者		TEL																																																																																																						
	線量測定年月日		2018/2/9		測定者		測定器名		電離箱		管理番号	F1-ICW-129																																																																																																			
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率																																																																																																		
	1		鋼材			B 01 D A		5 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無																																																																																																	
	2							m ²																																																																																																							
	3							m ²																																																																																																							
4							m ²																																																																																																								
5							m ²																																																																																																								
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																																																																																																															
保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																												
	1	1	鋼材 ⑩		5 μ Sv/h		5 μ Sv/h				エリアC		2018/3/23 10:40		5 m ²				1																																																																																												
															m ²																																																																																																
															m ²																																																																																																
															m ²																																																																																																
															m ²																																																																																																
															m ²																																																																																																
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																														
	メモ																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">※カテゴリ</th> <th rowspan="2">①</th> <th rowspan="2">A</th> <th rowspan="2">可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06</th> <th colspan="2">07</th> <th colspan="2">08</th> <th colspan="2">09</th> <th colspan="2">10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">①</td> <td rowspan="4">B</td> <td rowspan="4">不燃物</td> <td colspan="2">01 金属ガラ</td> <td colspan="2">02 コンクリートガラ</td> <td colspan="2">03 機器類・制御盤類</td> <td colspan="2">04 土砂類</td> <td colspan="2">05 塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td colspan="2">06 保温材</td> <td colspan="2">07 石綿含有物</td> <td colspan="2">08 ケーブル類</td> <td colspan="2">09 アスファルトガラ</td> <td colspan="2">10 不燃物その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11 フランジタンク本体</td> <td colspan="2">12 フランジタンク付属品</td> <td colspan="2">13</td> <td colspan="2">14</td> <td colspan="2">15</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C 難燃物</td> <td colspan="2">01 ゴム類</td> <td colspan="2">02 難燃シート類</td> <td colspan="2">03 ホース類</td> <td colspan="2">04 難燃物その他</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td rowspan="2">D</td> <td rowspan="2">伐採木</td> <td colspan="2">01 伐採木(幹・根)</td> <td colspan="2">02 伐採木(枝・葉)</td> <td colspan="2">03</td> <td colspan="2">04</td> <td colspan="2">05</td> </tr> <tr> <td colspan="2">状態</td> <td colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</td> <td colspan="2">③ 履歴</td> <td colspan="2">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>																				※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		06		07		08		09		10		①	B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15		C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05		状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05																																																																																																			
				06		07		08		09		10																																																																																																			
①	B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																																				
			06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																																				
			11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		14		15																																																																																																				
			C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05																																																																																																		
②	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		04		05																																																																																																				
			状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																						
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																																																																																																															
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																																																																																																															
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																																															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0008

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月23日		(金)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】									
	発生場所	雑固体廃棄物焼却設備 2階排気機械室						2018/3/2	2018/3/2	2018/3/1	
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者			測定器名	TCS172		管理番号	F1-SC-100	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	紙・ウエス類(スミヤ紙・紙・段ボール)	A	01	D	B	0.5 m ²	0.08 μSv/h	0.08 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m ²	0.08 μSv/h	0.08 μSv/h	無	
	3	金属ガラ(フィルタ枠・番線屑)	B	01	D	A	1 m ²	0.08 μSv/h	0.08 μSv/h	無	
4	不燃物その他(フィルタ)	B	10	D	A	1 m ²	0.08 μSv/h	0.16 μSv/h	無		
5	難燃シート類(ピンクシート)	C	02	D	B	2 m ²	0.08 μSv/h	0.08 μSv/h	無		
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0366
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月23日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICW	F1-ICW-025
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:00	0.1 m ²			1
	3	1	金属ガラ(フィルタ枠・番線屑) ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/23 12:10	0.5 m ²			2
	4	1	不燃物その他(フィルタ) ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/23 12:10	0.5 m ²			2
	5	1	難燃シート類(ピンクシート)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:00	0.3 m ²			1
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0102		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	水処理設備スラッジ等処理業務委託(H27)										
	発生場所	Cエリア						2018/3/1	2018/3/1	2018/3/1		
	作業主管G	処理設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-14		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
1	機器類・制御盤類		B	03	D	A	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.8 mSv/h	β 有	30 mSv/h	
2	金属ガラ		B	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.25 mSv/h	
3	ケーブル類		B	08	D	A	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有	1.2 mSv/h	
4	不燃物その他		B	10	D	A	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h	
5							m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0370
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月19日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	300	μ Sv/h	20	mSv/h			0.5	m ²			
1	1	1	機器類・制御盤類	5	μ Sv/h	300	μ Sv/h	20	mSv/h	エリアX	2018/3/19 12:00	0.5	m ²			1
2	1	1	金属ガラ	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	130	μ Sv/h	エリアX	2018/3/19 12:00	1	m ²			1
3	1	1	ケーブル類	5	μ Sv/h	60	μ Sv/h	800	μ Sv/h	エリアX	2018/3/19 12:00	0.3	m ²			1
4	1	1	不燃物その他	5	μ Sv/h	50	μ Sv/h	150	μ Sv/h	エリアX	2018/3/19 12:00	0.2	m ²			1
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		C	難燃物	01	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
D	伐 採 木	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012908 - 0014

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月23日	(金)	11:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1-3号SFP代替冷却設備インターロック多重化関連通信設備新設工事								
	発生場所	1~3号機周辺 (GJ-22、GJ-23、GJ-24)								
	作業主管G	通信システムグループ	監理員	TEL						
	元請会社		担当者	TEL						
	線量測定年月日	2018/2/25	測定者		測定器名	サーベーター	管理番号	F1-ICWBL-45		
記 入 欄 メ モ	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
	1	不燃物その他 (シール型蓄電池)	B	10	D	A	0.4 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2	機器類・制御盤類 (SW)	B	03	D	A	0.1 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	3	機器類・制御盤類 (UPS)	B	03	D	A	0.4 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	4	機器類・制御盤類 (SW) 2台	B	03	D	A	0.1 m ²	0.003 mSv/h	0.008 mSv/h	β 有 0.04 mSv/h
	5						m ²			
	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0371
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月23日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 (シール型蓄電池) ⑥	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/23 11:35	0.4 m ²			1
	2	1	機器類・制御盤類 (SW) ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/23 11:35	0.1 m ²			1
	3	1	機器類・制御盤類 (UPS) ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/23 11:35	0.4 m ²			1
	4	1	機器類・制御盤類 (SW) 2台	5 μSv/h	5 μSv/h	3 mSv/h	エリアE1	2018/3/23 11:35	0.1 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012908 - 0014

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	11:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1-3号SFP代替冷却設備インターロック多重化関連通信設備新設工事								
	発生場所	1F構内 1~2号機周辺 (GJ-22)								
	作業主管G	通信システムグループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G 記 入 欄 メ モ	線量測定年月日	2018/2/25	測定者			測定器名	サーベーター		管理番号	F1-ICWBL-45
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③						
	1	ケーブル類	B 08	D A	0.4 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h		無	
	2	ケーブル類	B 08	D A	0.3 m ²	0.002 mSv/h	0.015 mSv/h		β 有	0.032 mSv/h
3	難燃物その他 (エフレックス管)	C 04	D A	1.5 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h		無		
4	難燃物その他 (エフレックス管)	C 04	D A	0.2 m ²	0.002 mSv/h	0.015 mSv/h		β 有	0.032 mSv/h	
5					m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0372
				2018/3/2
調整後保管日時		2018年3月20日		11:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-55	
2		ICWBL	F1-ICWBL-120	
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケーブル類 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/20 12:20	0.4 m ²			1
	2	1	ケーブル類	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	100 μ Sv/h	エリアE1	2018/3/20 12:20	0.3 m ²			1
	3	1	難燃物その他 (エフレックス管) (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/20 11:30	1.5 m ²			2
	4	1	難燃物その他 (エフレックス管)	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアE1	2018/3/20 12:20	0.2 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木 (幹・根)	02 伐採木 (枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木 (幹・根)	02 伐採木 (枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木 (幹・根)	02 伐採木 (枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013707 - 0026														
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年3月23日		(金)		8:30		承認		審査	作成												
	作業件名		HTI浄化ライン増設工事(1F-1~4号機 タービン建屋浄化ライン他設置工事)																					
	発生場所		HTI建屋 4号タービン建屋																					
	作業主管G		処理設備グループ				監理員		TEL															
	元請会社						担当者		TEL															
	線量測定年月日		2018/2/27		測定者				測定器名		電離箱式サーベイメータ													
									管理番号		F1-ICW-117F1-ICW-BL-103													
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率							
	1		不燃物(金属類)			B 01 D B			6 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無									
	2		不燃物その他			B 10 D B			0.5 m ²		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無									
3								m ²																
4								m ²																
5								m ²																
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																								
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		不燃物(金属類) ⑩		5 μSv/h		6 μSv/h				エリアC		2018/3/23 8:05		5 m ²						1	
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																							
	メ モ																							
※ カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類				02 プラスチック・ポリ・ビニール類				03 木材類				04 可燃物その他				05 —			
					06 —				07 —				08 —				09 —				10 —			
			B 不燃物		01 金属ガラ				02 コンクリートガラ				03 機器類・制御盤類				04 土砂類				05 塩化ビニール類			
					06 保温材				07 石綿含有物				08 ケーブル類				09 アスファルトガラ				10 不燃物その他			
					11 フランジタンク本体				12 フランジタンク付属品				13 —				14 —				15 —			
			C 難燃物		01 ゴム類				02 難燃シート類				03 ホース類				04 難燃物その他				05 —			
					D 伐採木		01 伐採木(幹・根)				02 伐採木(枝・葉)				03 —				04 —				05 —	
			② 状 態				D:乾燥, W:湿気有				③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」											
	注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																							
	注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																							
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010302 - 0006

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	12:00	承認	審査	作成						
	作業件名	防災業務委託												
	発生場所	1F 消防車庫					2018/3/16	2018/3/16	2018/3/16					
	作業主管G	防災安全グループ			監理員		TEL							
	元請会社				担当者		TEL							
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-73					
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率				
		①	②	③										
	1	木材類	A	03	D	A	3.5	m	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	1.5	m	0.02	mSv/h	0.02	mSv/h	無	
	3							m						
	4							m						
5							m							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0385
				2018/3/16
調整後保管日時		2018年3月19日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 12:00	3.5 m			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 12:00	1.1 m			1
									m			
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010302 - 0006		
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	12:30		承認	審査	作成			
	作業件名	防災業務委託										
	発生場所	1F 消防車庫						2018/3/13	2018/3/13	2018/3/13		
	作業主管G	防災安全グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/27		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-73	
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③								
	1	難燃シート類	C	02	D	A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	2	可燃物その他	A	04	D	A	2.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	3	難燃物その他	C	04	D	A	1.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
	4						m ²					
5						m ²						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0386
				2018/3/14
調整後保管日時		2018年3月19日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	2	1	可燃物その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/19 12:30	0.3 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	9:00		承認	審査	作成
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事							
	発生場所	共用プール建 屋内、屋外						2018/3/5	2018/3/2
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者			測定器名	ICW/ICWBL	管理番号	注1
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	キムタール、ダンボール 他	A 01	D B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ロープ 他	A 04	D B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	ビニール袋 他	A 02	D B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	エフレックス 他	C 04	D B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	木材 他	A 03	D B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h	
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-154/F1-ICWBL-135									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0400
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月19日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	キムタール、ダンボール 他	2 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 8:40	2.7 m ²			1
	2	1	ロープ 他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 8:40	0.5 m ²			1
	3	1	ビニール袋 他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 8:40	2.2 m ²			1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事									
	発生場所	共用プール建 屋内、屋外						2018/3/5	2018/3/2	2018/3/2	
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	コンパネ、木屑 他	A	03	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	木材 他	A	03	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.04 mSv/h
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-154/F1-ICWBL-135										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0401
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月20日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンパネ、木屑 他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 8:30	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0001

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機 原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事									
	発生場所	共用プール建 屋内、屋外						2018/3/5	2018/3/2	2018/3/2	
	作業主管G	設備電源グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者			測定器名	ICW/ICWBL		管理番号	注1	
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
		①	②	③							
	1	木材パレット 他	A	03	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	難燃シート 他	C	02	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	ゴム類	C	01	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	4	エフレックス 他	C	04	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	木材 他	A	03	D	B	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β有	0.04 mSv/h	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 注1: F1-ICW-154/F1-ICWBL-135											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0402
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月20日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	1	1	木材パレット 他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/20 9:50	3 m ²			1
	2	1	難燃シート 他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/20 9:50	0.4 m ²			1
	3	1	ゴム類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/20 9:50	0.3 m ²			1
	4	1	エフレックス 他(→H)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/20 9:50	2.5 m ²			2
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010302 - 0006																																																																																					
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月23日		(金)	12:00		承認	審査	作成																																																																																						
	作業件名	防災業務委託																																																																																													
	発生場所	1F 消防車庫						2018/3/22	2018/3/22	2018/3/22																																																																																					
	作業主管G	防災安全グループ				監理員	TEL																																																																																								
	元請会社					担当者	TEL																																																																																								
	線量測定年月日	2018/2/27	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-73																																																																																					
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																																																																				
	1	紙・ウエス類			A 01	W A	1.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無																																																																																					
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02	W A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無																																																																																					
	3	木材類			A 03	W A	1.5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無																																																																																					
4						m ²																																																																																									
5						m ²																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="11">2018年3月23日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="9">F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容												測定日	2018年3月23日											測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICW	F1-ICW-158									2												3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日	2018年3月23日																																																																																														
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1		ICW	F1-ICW-158																																																																																												
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																			
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:00	1.1 m ²			1																																																																																			
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:00	1.3 m ²			1																																																																																			
	3	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:00	1 m ²			1																																																																																			
									m ²																																																																																						
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																															
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																																																																																		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																																																																																		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																																																																																		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																																																																																		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																																																																																		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																																																																																		
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																		
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																		
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																																																																																			
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																								
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																																																															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0037

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月23日		(金)	9:30		承認	審査	作成
	作業件名	6W タンク点検手入工事							
	発生場所	6号機 RW/B 機器ドレン収集タンク(B)エリア						2018/3/5	2018/3/5
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員		TEL	
	元請会社					担当者		TEL	
	線量測定年月日	2018/3/1	測定者		測定器名	電離箱サーバイメータ	管理番号	F1-ICWBL-27	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	金属ガラ	B	01	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	ケーブル類	B	08	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
3	不燃物その他(アルミテープ、不燃シート)	B	10	D	B	0.4 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
4						m ²			
5						m ²			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0412
				2018/3/5
調整後保管日時		2018年3月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/23 9:40	0.2 m ²			1
	2	1	ケーブル類 ⑩	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/23 9:40	0.1 m ²			1
	3	1	不燃物その他(アルミテープ、不燃シート) ③	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2018/3/23 9:40	0.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
	②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0009

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 タンク水位計設置(TPT)								
	発生場所	ヤード Bタンク廻り						2018/3/6	2018/3/6	2018/3/6
	作業主管G	水処理・滞留水計装グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/5	測定者			測定器名	F1-SC		管理番号	109
	G No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	塩ビ・エフлекс	C	04	D	B	2 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
2	ピンクシート	C	02	D	B	1 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
3	グリーントラフ	C	04	D	B	1 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0427
				2018/3/6
調整後保管日時		2018年3月20日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフлекс (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 9:30	1 m ²			1
	2	1	ピンクシート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 9:30	0.5 m ²			1
	3	1	グリーントラフ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 9:30	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	11:00		承認	審査	作成
	作業件名	1～3号機SFP循環冷却設備信頼性向上対策工事(件名統合により名称変更)							
	発生場所	2,3号機 SFP旧コンテナ付近							
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/3/5	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-13
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	木材	A	03	W	A	10 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
2	可燃ごみ	A	02	D	A	1 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
3	可燃ごみ	A	01	D	A	1 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
4	エフレックス	C	04	D	A	0.5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
5	可燃ごみ	A	04	D	A	0.5 m ²	5 μSv/h	5 μSv/h	無
トラック2台にて搬入									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0430
				2018/3/7
調整後保管日時		2018年3月20日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 10:45	10 m ²			1
	2	1	可燃ごみ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 10:45	0.2 m ²			1
	3	1	可燃ごみ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 10:45	0.1 m ²			1
	4	1	エフレックス (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 10:45	0.2 m ²			2
	5	1	可燃ごみ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 10:45	0.6 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木 (幹・根)	02	伐採木 (枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木 (幹・根)	02	伐採木 (枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木 (幹・根)	02	伐採木 (枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012909 - 0002

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	11:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1～3号機SFP循環冷却設備信頼性向上対策工事(件名統合により名称変更)									
	発生場所	3号機 SFP旧コンテナ付近						2018/3/20	2018/3/19	2018/3/17	
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/3/13	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-3	
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	不燃ごみ(ケーブル)	B	08	D	A	5 m ²	10 μSv/h	10 μSv/h	β有	50 μSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0456
				2018/3/20
調整後保管日時		2018年3月23日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃ごみ(ケーブル)	6 μSv/h	10 μSv/h	50 μSv/h	エリアX	2018/3/23 9:10	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		D	伐 採 木						
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0050

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日	(火)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	NW水処理設備修理工事								
	発生場所	水処理建屋			2018/3/7	2018/3/7	2018/3/7			
	作業主管G	廃棄物設備グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-233		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	木材パレット	A	03	D	A	4 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0458
				2018/3/8
調整後保管日時		2018年3月20日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材パレット	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/20 11:00	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0028		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事										
	発生場所	G6、H6北タンクエリア						2018/3/8	2018/3/8	2018/3/5		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	難燃物(エフレックス)		C	04	D	B	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2							m ³				
	3							m ³				
4							m ³					
5							m ³					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0467
				2018/3/8
調整後保管日時		2018年3月19日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	1	難燃物(エフレックス)(→H)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/19 10:00	5 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類 · 伐採木管理票

計上No. 6013704 - 0028

作業主	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	11:30		承認		審査		作成					
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事														
主	発生場所	G6タンクエリア						2018/3/8		2018/3/8		2018/3/5				
	作業主管 G	貯留設備グループ				監理員		TEL								
管	元請会社					担当者		TEL								
	線量測定年月日	2018/2/28		測定者		測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-130				
G	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率			
	①		②		③											
記入欄	1	難燃物(エフレックス)		C	04	D	B	5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	2								m ²							
	3								m ²							
	4								m ²							
	5								m ²							
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。															

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/3/8
廃2018	—	03	—	0468	
調整後保管日時		2018年3月19日			
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$							
	1	1	難燃物(エフレックス)(→H)	2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$		エリアO	2018/3/19 10:30	5 m ³			1
											m ³			
											m ³			
											m ³			
											m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	G6、H6北タンクエリア						2018/3/8	2018/3/8	2018/3/5
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	難燃物(エフレックス)	C	04	D	B	5 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0469
				2018/3/8
調整後保管日時		2018年3月20日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-120	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物(エフレックス) (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 10:10	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0047

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月30日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1～4号機 油処理装置運転管理業務委託								
	発生場所	3号機 T/B 1FL、2FL						2018/3/9	2018/3/9	
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	電離箱式	管理番号	F1-ICWBL-72	
	G No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	不燃物(金属入り補強ホース)	B	10	D	A	2 m ²	0.008 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	1 mSv/h
2	不燃物(配管、サポート)	B	01	D	A	1 m ²	0.008 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0474
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月20日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物(金属入り補強ホース)	5 μSv/h	120 μSv/h	250 μSv/h	エリアW1	2018/3/20 9:50	2 m ²			1
	2	1	不燃物(配管、サポート)	5 μSv/h	20 μSv/h	120 μSv/h	エリアW1	2018/3/20 9:50	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0005

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1F1～4号機建屋内浄化設備設置のうちPE管敷設工事(仮)							
	発生場所	3号機 T/B 1FL、2FL					2018/3/9	2018/3/9	2018/3/8
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/2/28	測定者		測定器名	電離箱式	管理番号	F1-ICWBL-72	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	可燃物(紙、ウエス、キムタオル)	A 01	W A	1 m	0.008 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.5 mSv/h
	2	可燃物(プラスチック、ホリ、ビニール袋)	A 02	D A	2 m	0.008 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.5 mSv/h
3									
4									
5									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0476
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月19日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物(紙、ウエス、キムタオル)	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	400 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/19 11:10	1 m ²			1
	2	1	可燃物(プラスチック、ホリ、ビニール袋)	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	400 μ Sv/h	エリアW1	2018/3/19 11:10	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0010

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月23日		(金)	10:30	承認	審査	作成												
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他サンプルタンク付属設備設置並びに同関連除却工事																		
	発生場所	サブドレンサンプルタンクエリア					2018/3/8	2018/3/8	2018/3/8											
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL														
	元請会社				担当者	TEL														
	線量測定年月日	2018/2/28	測定者			測定器名	ICW(B)		管理番号	F1-ICWBL-130										
	G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率										
			①	②	③															
		1	木材類	A	03						D	B	5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2											m ²							
3												m ²								
4						m ²														
5						m ²														
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0477
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月23日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 10:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013705 - 0016																																																																																					
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	作 業 主 管 G	保管希望日時	2018年3月23日		(金)	13:00		承認	審査	作成																																																																																					
		作 業 件 名	地下水バイパス揚水井点検用ハウス設置																																																																																												
		発 生 場 所	地下水バイパス揚水井エリア							2018/3/8	2018/3/8																																																																																				
		作 業 主 管 G	地下水対策グループ			監 理 員		TEL																																																																																							
		元 請 会 社				担 当 者		TEL																																																																																							
		線量測定年月日	2018/3/7	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-72																																																																																					
		No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																																																																					
		1	プラスチック類	A	02	W	B	1 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無																																																																																				
		2	紙、ウエス類	A	01	W	B	0.5 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無																																																																																				
		3	雑可燃類	A	04	W	B	1.5 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無																																																																																				
	4						m ²																																																																																								
	5						m ²																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="11">2018年3月23日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="9">F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容												測定日	2018年3月23日											測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICW	F1-ICW-158									2												3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日	2018年3月23日																																																																																														
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1		ICW	F1-ICW-158																																																																																												
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>枝 番</th> <th>保 管 物 名</th> <th>測定場所 雰囲気線量率</th> <th>表面線量率</th> <th>β + γ 線量率</th> <th>保管場所</th> <th>保管日時</th> <th>物 量</th> <th>再利用/ 減容可否</th> <th>コンテナNo.</th> <th>測定No.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>プラスチック類</td> <td>2 μSv/h</td> <td>2 μSv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/3/23 12:50</td> <td>0.5 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>紙、ウエス類</td> <td>2 μSv/h</td> <td>2 μSv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/3/23 12:50</td> <td>0.2 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>雑可燃類</td> <td>2 μSv/h</td> <td>2 μSv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/3/23 12:50</td> <td>0.8 m²</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	1	1	プラスチック類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:50	0.5 m ²			1	2	1	紙、ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:50	0.2 m ²			1	3	1	雑可燃類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:50	0.8 m ²			1									m ²												m ²															
No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																				
1	1	プラスチック類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:50	0.5 m ²			1																																																																																				
2	1	紙、ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:50	0.2 m ²			1																																																																																				
3	1	雑可燃類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/23 12:50	0.8 m ²			1																																																																																				
								m ²																																																																																							
								m ²																																																																																							
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																															
メ モ																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カ テ ゴ リ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A</th> <th rowspan="5">可 燃 物</th> <th>01</th> <th>02</th> <th>03</th> <th>04</th> <th>05</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紙・ウエス類</td> <td>プラスチック・ポリ・ビニール類</td> <td>木材類</td> <td>可燃物その他</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>07</td> <td>08</td> <td>09</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>金属ガラ</td> <td>コンクリートガラ</td> <td>機器類・制御盤類</td> <td>土砂類</td> <td>塩化ビニール類</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B</td> <td rowspan="3">不 燃 物</td> <td>06</td> <td>07</td> <td>08</td> <td>09</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>保温材</td> <td>石綿含有物</td> <td>ケーブル類</td> <td>アスファルトガラ</td> <td>不燃物その他</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C</td> <td rowspan="2">難 燃 物</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>04</td> <td>05</td> </tr> <tr> <td>ゴム類</td> <td>難燃シート類</td> <td>ホース類</td> <td>難燃物その他</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D</td> <td rowspan="2">伐 採 木</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>04</td> <td>05</td> </tr> <tr> <td>伐採木(幹・根)</td> <td>伐採木(枝・葉)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>状 態</td> <td>D:乾燥, W:湿気有</td> <td>③</td> <td>履 歴</td> <td colspan="3">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</td> </tr> </tbody> </table>												※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	02	03	04	05	紙・ウエス類	プラスチック・ポリ・ビニール類	木材類	可燃物その他	—	—	—	—	—	—	06	07	08	09	10	金属ガラ	コンクリートガラ	機器類・制御盤類	土砂類	塩化ビニール類	B	不 燃 物	06	07	08	09	10	保温材	石綿含有物	ケーブル類	アスファルトガラ	不燃物その他	11	12	13	14	15	C	難 燃 物	01	02	03	04	05	ゴム類	難燃シート類	ホース類	難燃物その他	—	D	伐 採 木	01	02	03	04	05	伐採木(幹・根)	伐採木(枝・葉)	—	—	—	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								
※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	02	03	04	05																																																																																							
				紙・ウエス類	プラスチック・ポリ・ビニール類	木材類	可燃物その他	—																																																																																							
				—	—	—	—	—																																																																																							
				06	07	08	09	10																																																																																							
				金属ガラ	コンクリートガラ	機器類・制御盤類	土砂類	塩化ビニール類																																																																																							
B	不 燃 物	06	07	08	09	10																																																																																									
		保温材	石綿含有物	ケーブル類	アスファルトガラ	不燃物その他																																																																																									
		11	12	13	14	15																																																																																									
C	難 燃 物	01	02	03	04	05																																																																																									
		ゴム類	難燃シート類	ホース類	難燃物その他	—																																																																																									
D	伐 採 木	01	02	03	04	05																																																																																									
		伐採木(幹・根)	伐採木(枝・葉)	—	—	—																																																																																									
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																										
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																																																															

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0016

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月20日	(火)	12:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F フランジタンク除染設備設置								
	発生場所	大型機器メンテナンス建屋								
	作業主管G	貯留設備グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2018/3/5	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	F1-ICW-129		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	紙・ダンボール	A	01	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	ウエス	A	01	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	ビニール	A	02	D	B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	木製パレット	A	03	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5	トンパック	A	04	D	B	0.2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0486
				2018/3/9
調整後保管日時		2018年3月20日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 11:50	1 m ²			1
	3	1	ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 11:50	0.3 m ²			1
	6	1	可燃テープ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 11:50	0.1 m ²			1
	7	1	難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/3/20 11:50	0.1 m ²			1
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票 (別紙)

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0486

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	12:00	承認	審査	作成		
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事								
	発生場所	BCヤード					2018/3/12	2018/3/12	2018/3/12	
	作業主管G	3号機建築グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/3/9	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-361	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	2 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
	3	木材類	A	03	D	B	0.5 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
	4	ゴム類	C	01	D	B	0.5 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
	5						m ²			
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0489
				2018/3/12
調整後保管日時		2018年3月19日		12:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年3月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μ Sv/h	4 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 11:30	0.5 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 11:30	1 m ²			1
	4	1	ゴム類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 11:30	0.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013201 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	12:30		承認	審査	作成
	作業件名	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバー工事							
	発生場所	BCヤード						2018/3/12	2018/3/12
	作業主管G	3号機建築グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/3/9	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-361	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	難燃シート類	C	02	D	B	1.5 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
2	難燃その他	C	04	D	B	1.5 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
3	可燃その他	A	04	D	B	2 m ²	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無
4						m ²			
5						m ²			
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0490
				2018/3/12
調整後保管日時		2018年3月19日		12:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2		ICWBL	F1-ICWBL-120
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 12:00	1 m ²			1
	2	1	難燃その他(→H)	2 μ Sv/h	10 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 12:00	0.5 m ²			2
	3	1	可燃その他	2 μ Sv/h	8 μ Sv/h		エリアO	2018/3/19 12:00	0.7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6012909 - 0002	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月23日 (金) 9:00			承認		審査		作成		
	作業件名	1〜3号機SFP循環冷却設備信頼性向上対策工事(件名統合により名称変更)									
	発生場所	既設多核種建屋/増設多核種建屋			2018/3/12		2018/3/12		2018/3/12		
	作業主管G	水処理・滞留水計装グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/2/16	測定者		測定器名		ICW/ICWBL		管理番号 E1-ICW-196		
	No.	保管物名			※カテゴリ		測定場所 雰囲気線量率		β・α 汚染の有無		
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.5 mSv/h	β 有	0.5 mSv/h		
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.5 mSv/h	β 有	0.5 mSv/h		
	3	可燃物その他	A 04	D B	1.5 m ²	0.001 mSv/h	0.5 mSv/h	β 有	0.5 mSv/h		
4	難燃物その他	C 04	D B	1.5 m ²	0.001 mSv/h	0.5 mSv/h	β 有	0.5 mSv/h			
5											
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 キャスクNo S-076(6m3コンテナ: 容器廻り線量率測定)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0495
				2018/3/12
調整後保管日時		2018年3月23日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容										
測定日	2018年3月23日									
測定No.	氏名	測定器	管理番号							
1		ICWBL	F1-ICWBL-105							
2										
3										
4										

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h	μ Sv/h								
	1	1	6m3コンテナ	6	μ Sv/h	40	μ Sv/h	40	μ Sv/h	エリアX	2018/3/23 9:00	6 m ³		S-076	1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ												
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta - \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③								
	6	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1 m ²	0.001 mSv/h	0.2 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h		
	7	可燃物その他	A	04	D	B	1.5 m ²	0.001 mSv/h	0.2 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h		
	8	難燃物その他	C	04	D	B	1.5 m ²	0.001 mSv/h	0.2 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h		
	9					m ²							
	10					m ²							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2018	—	03	—	0496

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013204 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年3月19日		(月)	13:00		承認	審査	作成
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫9棟新設工事							
	発生場所	構内給油所除却工事						2018/3/12	2018/3/12
	作業主管G	建築廃棄物対策グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2018/3/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-4	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ	B 02	D B	1.6 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	分電盤	B 03	D B	1 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3	計量器	B 03	D B	2 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4	ケーブル	B 08	D B	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
5	車止め(金属)	B 01	D B	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
メ モ	廃棄物No.は資材物流G計上のNo.を使用 (別途担当より連絡いたします)								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0498
				2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月19日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 12:15	1.6 m ³			1
	2	1	分電盤 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 12:15	1 m ³			1
	3	1	計量器 ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 12:15	2 m ³			1
	4	1	ケーブル ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 12:15	0.1 m ³			1
	5	1	車止め(金属) ⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 12:15	0.5 m ³			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0028

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	13:00		承認	審査	作成					
	作業件名	G1エリアタンクリプレイス関連工事												
	発生場所	G6、H6北タンクエリア						2018/3/12	2018/3/12	2018/3/12				
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL							
	元請会社					担当者	TEL							
	線量測定年月日	2018/2/1	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-130				
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
	1	難燃物(マット、パッキン)	C	01	D	B	0.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	難燃物(ピンクシート)	C	02	D	B	0.6	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	3	難燃物(トラフ、PE管)	C	04	D	B	2.2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	4							m ²						
5							m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0499
				2018/3/13
調整後保管日時		2018年3月20日		13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	3	μ Sv/h								
	1	1	難燃物(マット、パッキン)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h			エリアO	2018/3/20 11:00	0.2	m ²		1
	2	1	難燃物(ピンクシート)	2	μ Sv/h	4	μ Sv/h			エリアO	2018/3/20 11:00	0.3	m ²		1
	3	1	難燃物(トラフ、PE管)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h			エリアO	2018/3/20 11:00	1.5	m ²		1
												m ²			
												m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ モ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013103 - 0003

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月19日	(月)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	南側護岸他復旧工事							
	発生場所	5/6号機取水路開渠付近			2018/3/13	2018/3/13	2018/3/13		
	作業主管G	港湾土木グループ	監理員		TEL				
	元請会社		担当者		TEL				
G	線量測定年月日	2018/2/23	測定者		測定器名	TCS-172B	管理番号	F1-SC-176	
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	防災シート	B 10	D A	1 m ²	1 μ Sv/h	0.8 μ Sv/h	無	
	2	金物類	B 01	D A	1 m ²	1 μ Sv/h	0.8 μ Sv/h	無	
	3	電線(キャブタイヤ)	B 08	D A	0.01 m ²	1 μ Sv/h	0.8 μ Sv/h	無	
	4				m ²				
5				m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0508
				2018/3/14
調整後保管日時		2018年3月19日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-025
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	防災シート③	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 8:50	1 m ²			1
	2	1	金物類⑩	5 μ Sv/h	6 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 8:50	1 m ²			1
	3	1	電線(キャブタイヤ)⑩	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2018/3/19 8:50	0.01 m ²			1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※ カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012902 - 0034

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月23日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	低圧ケーブル信頼性向上工事(仮)(H29)								
	発生場所	登録センター近傍						2018/3/8	2018/3/8	2018/3/8
	作業主管G	配電・電路グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/3/7	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-052	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
1	不燃物その他	B	10	D	A	5 m ³	0.01 μSv/h	0.01 μSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0509
				2018/3/14
調整後保管日時		2018年3月23日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他 ③	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアC	2018/3/23 11:10	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0048

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F2～4号機 タービン建屋滞留水浮上油回収委託(H29)								
	発生場所	3号機T/B				2018/3/13	2018/3/13	2018/3/13		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/3/2	測定者		測定器名	ICS-323C		管理番号	R06009	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	紙・ウエス	A	01	W	A	1 m ²	0.02 mSv/h	0.8 mSv/h	無
	2	ポリ・ビニール類	A	02	D	A	2 m ²	0.02 mSv/h	0.3 mSv/h	無
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0516
				2018/3/14
調整後保管日時		2018年3月20日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	5 μSv/h	600 μSv/h		エリアX	2018/3/20 8:10	1 m ²			1
	2	1	ポリ・ビニール類	5 μSv/h	400 μSv/h		エリアX	2018/3/20 8:10	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013705 - 0005				
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日			(火)	9:00		承認	審査	作成				
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他集水タンク付属設備設置工事												
	発生場所	サブドレン集水タンク廻り					2018/3/14	2018/3/14	2018/3/14					
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員			TEL						
	元請会社				担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/3/13	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-3				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率				
	1	紙、ウエス	A	01	D	B	3	m ²	0.01	mSv/h	0.1	mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	1	m ²	0.01	mSv/h	0.1	mSv/h	無	
	3							m ²						
4							m ²							
5							m ²							
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2018	—	03	—	0517	2018/3/14
調整後保管日時		2018年3月20日			9:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	紙、ウエス	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/20 9:00	0.6	m ²			1
2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/3/20 9:00	0.2	m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —					
①	B	不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		
			06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		
			11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —		
			C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —
②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		
			状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013705 - 0005	
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 サブドレン他集水タンク付属設備設置工事									
	発生場所	サブドレン集水タンク廻り						2018/3/14	2018/3/14	2018/3/14	
	作業主管G	地下水対策グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/3/13	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-3	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	ケーブルトレイ、プルボックス、電線管			B	01	D	B	6 m	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	無
2	ケーブル			B	08	D	B	1 m	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	無
3	フレキ			B	01	D	B	1 m	0.01 mSv/h	0.1 mSv/h	無
4								m			
5								m			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0518
				2018/3/14
調整後保管日時		2018年3月20日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
2	1	ケーブル ⑩	5 μSv/h	7 μSv/h		エリアC	2018/3/20 9:25	0.5 m ³				1
								m ³				
								m ³				
								m ³				

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0031

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年3月20日		(火)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-2号機復水器滞留水移送業務委託							
	発生場所	1号機 タービン B1・1FL ヒーター室							
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/3/12	測定者			測定器名	β+γ用電離箱		
						管理番号	F1-ICWBL-27		
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	紙・ウエス類	A 01	D B	0.2 m ²	0.003 mSv/h	0.17 mSv/h	β 有	1.8 mSv/h
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	0.4 m ²	0.003 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	3	可燃物その他	A 04	D B	0.3 m ²	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h
	4	難燃シート	C 02	D B	0.5 m ²	0.003 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
	5				m ²				
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2018	—	03	—	0519
				2018/3/14
調整後保管日時		2018年3月20日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年3月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	5 μSv/h	120 μSv/h	2 mSv/h	エリアW1	2018/3/20 9:40	0.2 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	5 μSv/h	30 μSv/h	250 μSv/h	エリアW1	2018/3/20 9:40	0.4 m ²			1
	4	1	難燃シート	5 μSv/h	20 μSv/h	70 μSv/h	エリアW1	2018/3/20 9:40	0.5 m ²			1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。													